

アグリサイエンス学科 AGR

Department of Agri-Science

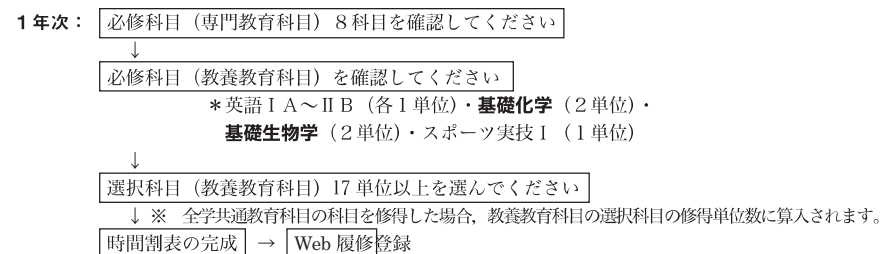
教育研究上の目的 世界に通用する次世代の高品質な農産物の生産及びブランド化を目的としたアグリビジネスに関する幅広い知識、高度な専門技術を身に付けた人材を養成する。

卒業の要件 アグリサイエンス学科の学生が卒業するために必要な単位数は、次のとおりです。これは最低単位数ですので、これ以上の履修が望まれます。

・教養教育科目	必修科目	13 単位
	選択科目	17 単位以上
・専門教育科目	必修科目	40 単位
	選択科目	54 単位以上 (選択必修科目含む)
・合計 (卒業最低単位数)		124 単位以上

進級の条件 1 年次から 2 年次へ : 30 単位以上
2 年次から 3 年次へ : 60 単位以上
3 年次から 4 年次へ : 90 単位以上

履修の方法 次の手順で自分の「時間割表」を完成してから、Web 履修登録してください。
→「履修及び諸手続」の「5 履修登録について」を参照



教職・学芸員課程の履修者は、必修科目を必ず登録してください。

2 年次 :

- 1) 専門教育科目の必修科目 : 3 科目を必ず登録してください。
- 2) 教養教育科目の必修科目 : 英語 III A ~ IV B (各 1 単位) を必ず登録してください。
- 3) 専門教育科目の選択科目 : 必要なものを選択して登録してください。
(選択必修科目に注意)
- 4) 教職・学芸員課程の履修者は、それぞれの必修科目を必ず登録してください。
- 5) 教養教育科目の選択科目 : 必要な単位数分以上選択してください。

3 年次 :

- 1) 専門教育科目の必修科目 : 8 科目を必ず登録してください。
- 2) 専門教育科目の選択科目 : 必要なものを選択して登録してください。
(選択必修科目に注意)
- 3) 教職・学芸員課程の履修者は、それぞれの必修科目を必ず登録してください。
- 4) 教養教育科目の選択科目 : 必要な単位数分以上選択してください。

4 年次 :

- 1) 専門教育科目の必修科目 : 4 科目を必ず登録してください。
- 2) 専門教育科目の選択科目 : 必要なものを選択して登録してください。
- 3) 教職・学芸員課程の履修者は、それぞれの必修科目を必ず登録してください。
- 4) 教養教育科目の選択科目 : 必要な単位数分以上選択してください。

◇再履修が必要な科目 (特に必修) は必ず登録・受講するよう計画を立ててください。

◇資格について、必修又は選択必修科目があるので注意してください。

◇教職課程の履修者であっても専門教育科目の選択科目 (選択必修含む) を 54 単位以上修得するようにしてください。

アグリサイエンス学科：教養教育科目・専門教育科目一覧表

		1 年 次		2 年 次				
全学共通教育科目		選択	首王創遊の基礎 (2) 日本を考える (2)					
教 養 科 目	言語系科目	必修	英語 I A (1) 英語 I B (1) 英語 II A (1) 英語 II B (1)	英語 III A (1) 英語 III B (1) 英語 IV A (1) 英語 IV B (1)	(1) (1) (1) (1)			
		その他の外国語	初級ドイツ語文法A (1) 初級ドイツ語会話A (1) 検定ドイツ語A (1) 初級フランス語文法A (1) 初級スペイン語文法A (1) 初級中国語文法A (1) 中級中国語文法A (1) 初級韓国語文法A (1) 日本語 I (1)	初級ドイツ語文法B (1) 初級ドイツ語会話B (1) 検定ドイツ語B (1) 初級フランス語文法B (1) 初級スペイン語文法B (1) 初級中国語文法B (1) 中級中国語会話 (1) 初級韓国語文法B (1) 日本語 II (1)	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)			
教 養 科 目	人文・社会系科目	選択	日本語表現の基礎 (2) 倫理学入門 (2) 心理学入門 (2) 文化人類学入門 (2) 法学入門 (2) 政治と現代社会 (2) 歴史学入門 (2) 日本の歴史 (2)	日本の文学 (2) 倫理学の現在 (2) 行動心理学 (2) 東洋の文化人類学 (2) 日本国憲法 (2) 経済学入門 (2) 社会学の現在 (2) 倫理学の現在 (2)	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)			
		自然系科目	選択	※基礎生物学 (2) 物理学入門 (2) 基礎地球科学 (2) 図形代數 (2)	基礎力学 (2) 統計学入門 (2) 物理学演習 (2)	(2) (2) (2) (2)		
教 養 科 目	健康・スポーツ系科目	必修	スポーツ実践 I (1)		(1)			
	総合系科目	選択	データサイエンスの基礎 (2) データサイエンスの世界 (2)	情報科学 (2) 歴史領域を考える (2)	(2) (2)			
基礎専門科目		選択	海外フィールド実習 (1)		(1)			
専 門 科 目	専 門 共 通 コア 科 目	必修	アグリサイエンス概論 (2) 組織・発生学 (2) 生化学 (2) 農業のすがた (2) 分子生物学 (2) 遺伝学入門 (2) ブランド創生学 (2)	アグリサイエンステクノロジー (2) アグリビジネス・マーケティング論 (2)	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)			
		選択必修		●産業動物品種論 (2) ●動物生理学 (2) ●飼料作物学 (2) ◆△植物形態学 (2) ◆△植物生態学 (2) ◆△農作物生理学 (2)	(2) (2) (2) (2) (2) (2)			
		選択		●動物生理学 (2) ●飼料作物学 (2) ●農業と環境 (2) ●持続型農業論 (2) ●花文化論 (2)	(2) (2) (2) (2) (2)			
		実験科目	必修	アグリサイエンス基礎実験 (1)		(1)		
		実習科目	必修	ブランド創生フィールドワーク (1)		(1)		
		演習科目	必修					
		専 門 科 目	専 門 科 目	選択必修		●産業動物管理学 (2) ●動物遺伝育種学 (2) ●動物繁殖学 (2) ●実養・飼養学 (2) △作物学 I (2) △野菜園芸学 (2) △植物遺伝育種学 (2) △植物病理学 (2) △応用昆虫学 (2) ◆フラー園芸学 I (2) ◆色彩・造形学 (2) ◆フラー装飾学 (2)	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	
				選択必修		●動物科学基礎実験 (1) ◆△植物科学基礎実験 (1)	(1) (1)	
				実験・実習系科目	選択必修			
				広域基礎科目		生物資源科学概論 (2) 生物学概論 I (2)	生物学概論 II (2) 物理学概論 I (2) 物理学概論 II (2) 化学概論 I (2) 化学概論 II (2) 生物学実験 (2)	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)

(注) 教養教育科目について英語 I A～IV B 及びスポーツ実践 I 以外の科目は、開講年次の指定はありません。
 (この年次でも履修可能、1年次で英語 III A～IV B 以外の全科目を履修可能)
 教養教育科目の※印は必修科目です。
 英語以外の母語については、留学生は母語を履修することができます。
 また、日本語 I・II は留学生のみ履修できます。
 広域基礎科目は教職課程を受講する学生のみ履修登録を認めます。ただし、「生物資源科学概論」は教職課程を受講していない学生であっても、履修登録を認めます。
 基礎専門科目及び広域基礎科目を修得した単位は専門教育科目の選択の単位数の中に算入されます。
 (専門教育科目の選択科目の卒業要件単位数として算入されます)

		3 年 次		4 年 次		卒業に必要な単位数
						8
教 養 科 目	言語系科目	初級ドイツ語講話A (1) 中級ドイツ語講話A (1)	初級ドイツ語講話B (1) 中級ドイツ語講話B (1)			(1) (1)
		初級フランス語会話A (1) 初級スペイン語会話A (1) 初級中国語会話A (1)	初級フランス語会話B (1) 初級スペイン語会話B (1) 初級中国語会話B (1)			(1) (1) (1)
教 養 科 目	哲学入門	初級韓国語会話A (1)	初級韓国語会話B (1)			(1) (1)
		哲学入門 (2)	哲学の現在 (2)			(2) (2)
教 養 科 目	基礎化学	個性の心理学 (2) 比較文化論 (2) 社会学入門 (2) 経済と現代社会 (2) 現代社会と福祉 (2)	個性の心理学 (2) 比較文化論 (2) 社会学入門 (2) 地理学入門 (2) 世界の歴史 (2)			(2) (2) (2) (2) (2)
		総合地球科学 (2) 統計学入門 (2) 媒合生物学 (2)	総合地球科学 (2) 総合化学 (2) 解析学 (2)			(2) (2) (2)
教 養 科 目	スポーツ実技 IV	科学史 (2) 生命倫理 (1)	科学技術と社会 (2) ポアンテア論 (1)			(2) (1)
		生命と技術の倫理 (2) 生物統計学入門 (2) アグリブランド生産学 (2) 地域・ブランド農畜産物論 (2)				(2) (2) (2) (2)
教 養 科 目	施設園芸学	施設園芸学 (2) ポストハーベストテクノロジー (2) 作物分子生理学 (2) 園芸分子生理学 (2) フラー分子生理学 (2) 高畑と放牧 (2) スマート農業論 (2) アグリサイエンス特別講義 (2)				(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
		アグリサイエンス演習 I (1) アグリサイエンス演習 II (1)				(1) (1)
教 養 科 目	アグリサイエンス演習 I	アグリサイエンス演習 I (1) アグリサイエンス演習 II (1)				(1) (1)
		アグリサイエンス演習 III (1) アグリサイエンス演習 IV (1) アグリサイエンス研究 I (3) アグリサイエンス研究 II (3)				(1) (1) (3) (3)
専 門 科 目	動物バイオテクノロジー	●動物バイオテクノロジー (2) ●産業動物飼育計画論 (2) △作物学 II (2) △果樹園芸学 (2) △実養・飼養学 (2) ◆フラー園芸学 II (2) ◆花壇庭園装飾学 (2)				(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
		●動物科学応用実験 I (1) ●動物科学応用実験 II (1) △植物科学応用実験 I (1) △植物科学応用実験 II (1) ◆フラーサイエンス実験 I (1) ◆フラーサイエンス実験 II (1)				(1) (1) (1) (1) (1) (1)
専 門 科 目	職業指導	職業指導 (4) 化学実験 (2) 物理学実験 (2) 地学概論 I (2) 地学概論 II (2) 地学実験 (2)				(4) (2) (2) (2) (2) (2)

専門教育科目の●◆△印は、それぞれ動物性食資源コース、植物性食資源コース、フラーサイエンスコースの必修科目です。
 複数のコースを選択できます。コースが求める必修科目のうち修得できない科目がある場合は、そのコースで修得した選択必修の単位は選択の単位数に算入されます。資格に関する科目については別冊子を参照してください。コースによって取得できる資格が異なります。
 動物性食資源コースでは産業動物品種論、動物生理学、飼料作物学、産業動物管理学、動物遺伝育種学、動物繁殖学、実養・飼養学、動物バイオテクノロジー、産業動物飼育計画論、動物科学基礎実験、動物科学応用実験 I、動物科学応用実験 II を、植物性食資源コースでは植物形態学、植物生態学、植物生理学、作物学 I、野菜園芸学、植物遺伝育種学、植物病理学、応用昆虫学、作物学 II、果樹園芸学、土壌・植物栄養学、植物科学基礎実験、植物科学応用実験 I、植物科学応用実験 II を、フラーサイエンスコースでは植物形態学、植物生態学、植物生理学、フラー園芸学 I、色彩・造形学、フラー装飾学、フラー園芸学 II、花壇庭園装飾学、植物科学基礎実験、フラーサイエンス実験 I、フラーサイエンス実験 II を選択必修とします。